

科目コード	2698269	授業概要 【授業内容】 生体試料は一般に複雑な成分から成り立っています。例えば、血液は大きく分けると細胞成分と血清・血漿から成り立っていますが、これらの中には機能をもった様々なタンパク質、糖質、脂質、核酸、ビタミン、電解質などが含まれています。これらの成分のそれぞれには存在する意義があり、その濃度や種類を調べることで、ヒトの健康状態などに関する有用な情報が得られます。 この授業では臨床検査などで測られている成分をはじめとして、色々な生体成分の測定意義やそれらがどのような原理で測られているのかを解説します。 【到達目標】 ・各種生体成分の機能や存在意義を理解し、その変動が意味することを簡潔に説明することができる。 ・各種生体成分の変動と病態との関連性を説明できる。 ・各種測定法の原理を理解し、それらの概要を簡潔に説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 生体試料分析とは 第2回 血液の成分について 第3回 血液試料分析の意義と方法1 第4回 血液試料分析の意義と方法2 第5回 血液試料分析の意義と方法3 第6回 尿の成分について 第7回 尿試料分析の意義と方法 第8回 その他の生体試料分析 【学生へのメッセージ】 分析化学、臨床検査等に関わる専門用語を少し用いますが、わかりやすい解説を心がけます。授業の中でわからない点や自分なりの考えがあれば積極的に質問や発言をして、双方向のおもしろい授業にしていきたいと思います。 【受講前の準備学習等】 授業の理解を深めるためには化学や生化学の基礎的な知識が少し必要になります。シラバスの内容から判断して、高校の教科書レベルの基礎的な化学（有機化学）と生化学（タンパク質、糖質、脂質、核酸等）を事前に復習するなど、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	長崎学習センター	
学習センターコード	42A	
クラスコード	K	
科目名	生体試料分析の意義と方法	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	クロダ ナオタカ 黒田 直敬 長崎大学名誉教授	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター講義室	